

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」について（使い方など）

【この本の意図】

みんなが仲良く幸せに暮らせるために必要なものについて、自ら考え、自ら気づき、そして考えたことや気づいたことを、まわりの人に伝えて、共感の輪を広げていただきたいと思います。そして創りました。

この絵本は、色をつけず、文字も極力減らすことで、想像する力や感じる力を培っていただきたいと思います。と考えています。

【この本の対象】

「思いやりのある人になろう」と思っている人、「希望を持った人が、たくさんいたらいいな」と思っている人

【この本の使い方1】

- ・まずは普通の絵本のようにみる
 - ・お話を創り誰かに読んであげる
 - ・教室や図書室あるいは公民館などでみんなでお話を創る
 - ・創ったお話をみんなで発表し合う
- その他いろいろ

【この本の使い方2】

この本は、「人間」、「自然」、「社会」などの学習を始める場合に該当のページを開くと導入に使えるよう考えてあります。

【例文】原作者の例文を次に書いておりますので参考にしてみてください。

— p.1 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」

— p.2 —

「みなさんには、お父さんとお母さんいて、お父さんやお母さんにはそのまたお父さんやお母さんがいます。ずーっと、ずーっとつながっています。」（一人親家庭の子供に配慮する場合は、「誰にも親がいます。親にはそのまた親がいて・・・というように、ずーっとずーっとつながっています。」のようになるかもしれません。）

— p.3 —

「どんどん発展して、私たちの暮らしはとっても便利になっています。」

— p.4 —

「いくら便利になっても、いじめやけんかがあると悲しいですね」

— p.5 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」

— p.6 —

「いくら発展しても、森がなくなったら、森に住む生き物たちが困ります」

— p.7 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」

— p.8 —

「いくら便利でも、空気や水が汚れたら、みんなが困ります」

— p.9 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」

— p.10 —

「世界には争いが起こっている所がたくさんあります。」「悲しんでいるのは誰でしょう」

— p.11 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと」

— p.12~13 —

「みんな仲良く、ずーっと、ずーっと どこでも、いつでも ずーっと ずーっと」

学習：「みんなが仲良く幸せに暮らせるためには、何を学んで行けば良いのでしょうか」

持続：「これからも、ずーっとずーっと、みんなが生命をつなげて行くためには、何が必要なのでしょうか」

進化：「これからも、ずーっとずーっとみんなが仲良く幸せに暮らすためには、何を進化させていけばいいのでしょうか、何を変えなくてもいいのでしょうか」

「みんな仲良く ずーっとずーっと」

一度見ていただいて、何か考えることがあったでしょうか、何か気づきがあったでしょうか？

【作者からのメッセージ1】

私たちは地球に生まれました。生命は親から子へとずっとなつてつながつて来ました。人間の社会はどんどん発展して、現在の先進国で暮らしている人々はとても便利な生活を送っています。

しかし、いくら便利でも、いくら豊かでも、幸せでない人が多いことは悲しいことです。多くの人々が仲良く幸せに暮らすためには、みんなが思いやりと希望、そしてきびしさを持つことが必要なのではないかと考えています。

これからも人間がずっとなつてつながつていくためには何が必要か、みんなが仲良く幸せに暮らすためにはどうすれば良いかについては、様々な考え方があります。

おかれている環境や生活をしている場所によっても大きな差があるでしょう。それぞれの立場で、お話を創っていただけたら幸いです。

何か気づいたり、学んだことがあったら何度もお話を創り変えていただけたらと思います。

この本のタイトルは『みんな仲良くずーっとずーっと』です。

みんなが仲良くするためには、「独り占めしない」ということが、とても大切なことではないでしょうか。絵本を閉じた後、私たちの生活を振り返ってみるものいいでしょう。

生活を振り返る例としては

○いろいろな食べ物は、どこでどのように作られ、どのようにして食卓まで来たのか？

○綿のTシャツは、どこで誰がどのように栽培した綿か、どのように織られ、染められたものか？

○家に使われている木材はどこから来たのか？

などがあります。身の回りの様々なことに思いを馳せてみるのも良いのではないのでしょうか。

みんなが仲良くするために必要なことがもう一つあります。それはお互いを理解することです。そのためには交流がとっても大切です。

この本をとおしていろんな交流が生まれることを願っています。

【作者からのメッセージ2】

現在は正解のない時代であり、短期的な成果が求められるようになっていきます。いろいろな角度からものを見て、いろいろな人と話し合うことも必要なのではないのでしょうか。

この絵本を活用するため、気づきや学びのヒントが欲しい方は、何人が集まった場所であれば出向いてお話をすることも可能です。お友達やお知り合いに声をかけていただき連絡シートにてご連絡ください。ただし、未成年の方のみのグループはお断りいたします。また、個人的な相談には応じかねますので、できれば5人以上を集めてください。

学校、公民館、図書館でこの絵本を活用したいと思われる場合は先生、担当職員、司書の方が連絡をしてくださるようお願いいたします。出向くことが可能な場合は費用など詳細の打ち合わせをします。

連絡シートは「岡山環境カウンセラー協会」のホームページ（www.opeca.jp/）からもダウンロードできます。